

2024年2月県議会

丸山慎一議員 代表質問

2024年度県予算案、
災害対策、国保などを
質しました。

⇒一回目の質問



予算

物価高騰・賃金減少のもと 県民の暮らしを最優先に

子ども医療費 県の通院助成 小学3年のまま

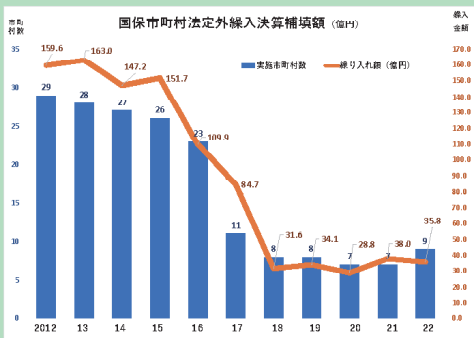
子育て支援が切実なもと、県の子どもの医療費通院助成の対象年齢引き上げの決断を迫りました。県の助成は入院中学3年、通院小学3年までで、通院は12年間も前進していません。県内の市町村は独自の努力で入・通院とも高校3年あるいは中学3年まで助成対象を広げています。県として中学3年まで通院助成を現行制度のままで実施した場合31億円程度で可能ですが、県は「支援の必要性の高い年齢をカバーしている」と背を向けました。

高齢者の生活
を支える介護

介護職員待遇改善も重要です。東京都では、介護職員の居住支援を打ち出し、1人月2万円の支給します。職員の収入増につながる対策をもとめました。県は、「介護報酬・待遇改善加算が実施される」など、国まかせの姿勢です。

「年金は減り、介護保険料は増えた。ガス・電気も上がり、食費を削っても家計は赤字」「国保を払えない」等の悲痛な声が寄せられています。

高すぎる国保 滞納7軒に1軒



市町村は、独自に税金を投入（法定外繰入）して、国保料・税を抑えてきましたが、県は国保運営方針で「解消・削減」の圧力をかけています。国に負担の大幅増額を求めるとともに、一般会計からの繰り入れは市町村の自主性に任せるよう主張しました。

避難所の
十分な備蓄

能登半島地震をふまえ、避難所での水・食料等の十分な備蓄や、トイレ・トレーラーの整備を求めました。

県の食料備蓄は一日2食分しかなく、3割の人が食料を、5割が毛布を持参する計画です。

暮らしの予算は、不要不急の大型開発を見直せば確保は可能です。

能登半島地震災害募金へのご協力をお願いします

募金は、下記で受け付けています。
【郵便振替】
口座番号 00170-9-140321
加入者氏名 日本共産党災害募金係
＊通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。
手数料はご負担願います。

募金は全額を被災者救援、被災自治体義援金に充てます。



加藤 英雄
(柏市)
総務防災常任委員



丸山 慎一
(船橋市)
県土整備常任委員



みわ 由美
(松戸市)
健康福祉常任委員



浅野ふみ子
(市川市)
文教常任委員

日本共産党千葉県議会だより
2024年3月12日号 ☎043(223)2544

日本共産党 Japanese Communist Party